

ひまわり在宅サポートグループ

齋藤景子(相談支援専門/ひまわりデイサービスセンター障がい者相談支援室)

功 績	交通事故後の医療的ケアを伴う障害児支援を通し、医療、教育、行政、福祉を繋ぐソーシャルワークを実現し、地域貢献に繋がる功績を上げた功績
推 薦 者	ひまわりデイサービスセンター障がい者相談支援室 小野寺 一恵
推 薦 理 由	令和4、5年度において基幹相談支援センターへの出向を通し、様々な関係機関と関わりながら、地域連携のあり方を学んでいます。地域の中での事業所の相談役としても活躍してきました。今回主任相談支援専門員も取得し、事業所内のみならず地域での役割をまっとう出来る人材として、個の事例を通しての地域連携の強化を私自身も学ばせてもらいました。相談支援事業所の質の向上にも繋がる事例として理事長賞に推薦いたします。

内 容

交通事故後に医療的ケアや障害を抱えて退院される女の子の支援依頼が保健師さんから入り、病院を退院する前から介入が開始しました。まずは自宅内の環境調整やサービス等のご提案を行い在宅生活の安定を図れるようにしていきました。

法人内訪問看護や、病院などと連携を行いながらまずは医療面の充実を図りました。在宅に戻られ、次の段階で「通学をどのようにしていくのか」という学校との連携が始まり、通学や学校内での移動の問題、医療的ケアの部分での課題が上げられました。移動については学校とセッションを行い、医療的ケアについてはひまわり訪問看護ステーションからの看護師派遣で通学が可能となりました。通学が出来るまでの間にはひまわりデイサービスセンターでの一時預かりを通じて母の休息や兄弟への時間を作ることができ、同法人内での連携が支援に活かされました。また、通学後の時間の在り方なども含めてサービス利用をしていく為に、行政やサービス提供事業所、意見書を貰う為の医療機関とも調整を図り、サービス利用ができる体制が整えられました。学校への通学後も様々な問題に対して、リハビリ職や看護師と学校との会議を持ちながらよりよい支援のため連携の強化に努めております。交通事故ということで、通常とは違う制度や法律なども勉強をし、母の精神的ストレス等にも傾聴をしながら、ご家族へのケアも実践しています。

今回のケースを通して関係機関との連携強化ができました。また、法人内連携が図れたことでご本人が地域の中で楽しく暮らせるようにも支援出来たことは、石巻地域の中でのひまわりの強みを発揮できた事例となったと思います。